〇はじめに

＜Javascriptに関する私の所感＞　Day18現在

・イメージ

・メモリ管理が不要

・データ型を気にする必要がない

・特異的仕様

・比較演算子

厳密等価演算子　（なんじゃこりゃ）

・配列

次元数の異なる配列？(ビックリ)

『Javascriptでは多次元配列を直接サポートしていない』の記載

（解釈）　⇒　実は、配列の各要素に別の配列(先頭)を格納し 多次元配列を実現

・オブジェクト

内部構成の変更が可能(キーの追加、削除)

・クロージャ、フィルタ、マップ・・・etc

〇Presentation作成にあたり 織り込みたいこと

＜講義内容から取り入れ＞

配列

オブジェクト

API

クロージャ

フィルタ

マップ

＜ブラウザ駆動 → 見た目の動き＞

インターバル

〇仕様

名称　**Hello, World** and Greeting　（プログラミング言語入門コースの定番）

機能　**ゲスト名から 既定の呼出し順で挨拶分を表示する**

Welcome 1
Welcome 2, meet 1
Welcome 3, meet 1 and 2
Welcome 4, meet 1, 2 and 3
Welcome 5, meet 1, 2, 3 and 4

<Lesson 11のナイトメア>
・最初に'Welcome'と最終ゲスト
・ゲストが複数の場合は、'meet'の後に最初のゲスト
・2番目からは', 'で繋ぎ 最後から 2 番目の場合は 'and'で繋ぐ

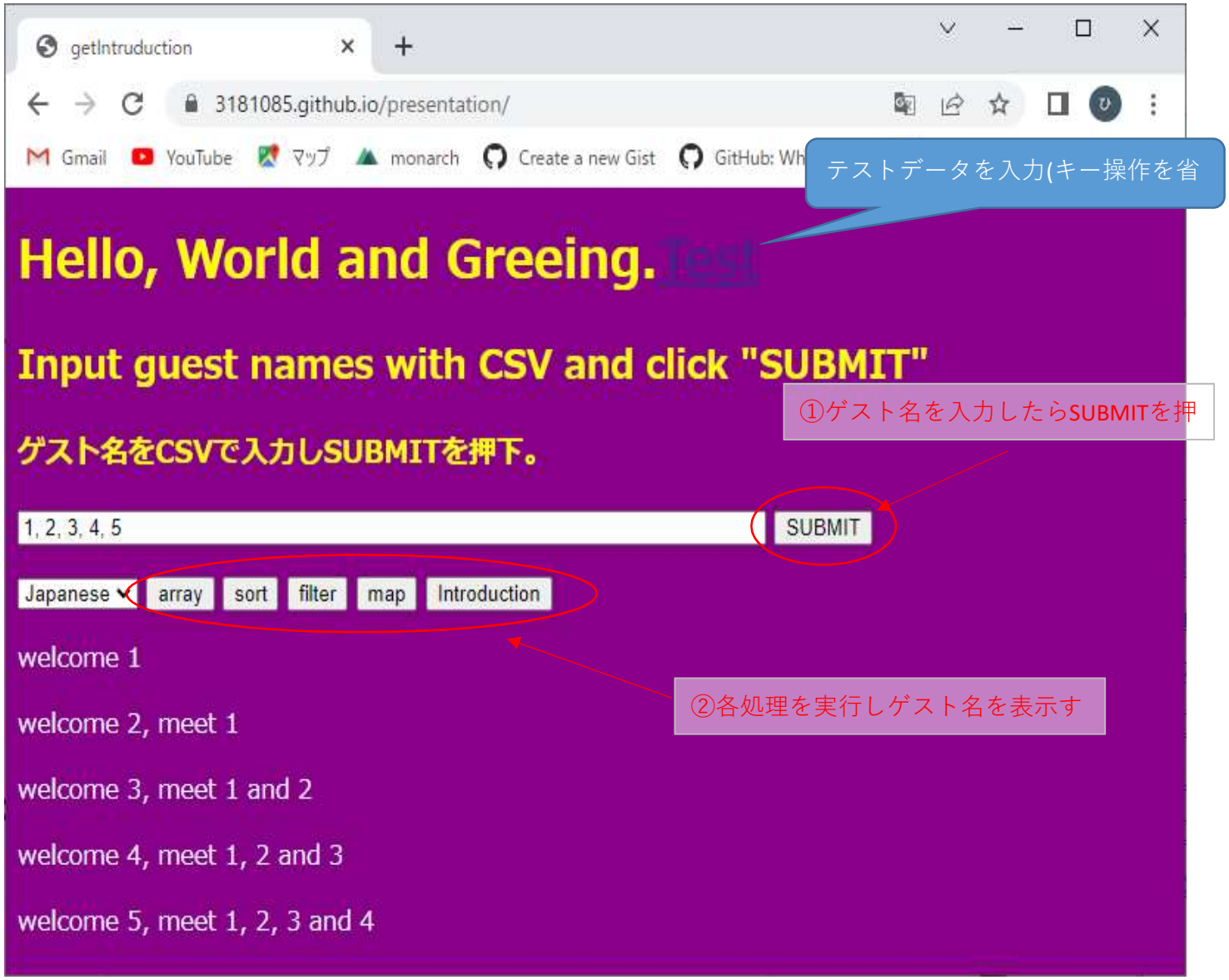
入力

必須　**ゲストの名前をカンマで区切り　テキストボックスへキー入力**
オプション　出力②へのパラメータとして国を選択

出力

①Introduction　**既定順で 画面へ表示する。但し、１行毎に１秒のインターバルを設ける**
②map　選択された国の挨拶で
③filter　アルファベットのみ表示
④sort　ゲスト名でソート
⑤array　そのまま

〇使用法


getIntruduction
3181085.github.io/presentation/
Gmail
YouTube
マップ
monarch
Create a new Gist
GitHub: Wh
テストデータを入力(キー操作を省
Hello, World and Greeing.
Test
Input guest names with CSV and click "SUBMIT"
①ゲスト名を入力したらSUBMITを押
ゲスト名をCSVで入力しSUBMITを押下。
1, 2, 3, 4, 5
SUBMIT
Japanese
array
sort
filter
map
Introduction
welcome 1
welcome 2, meet 1
welcome 3, meet 1 and 2
welcome 4, meet 1, 2 and 3
welcome 5, meet 1, 2, 3 and 4
②各処理を実行しゲスト名を表示す

〇最後に気づいた点

メモリ操作で間違った解釈

関数から配列を返すと参照渡し

```
function copy(array) {
        let retArray = [];
        retArray = array;
        return retArray;
}
newArray = copy(originalArray);          ← newArrayには別のインスタンス？
```

間違った解釈：引数または、返り値を受けるとそのインスタンス(実体)が生成される

⇒ 正: されない。originalArrayがそのまま返る(低レベル言語と同等仕様))

オブジェクト

キー名を間違えてもエラーにならない

```
{
   prefix: "Mr.",
},
{
   perfix: "Hola",
},
```

〇アルゴリズム：実装したバブルソートのアルゴリズム